

【今週】

1. 論文の作成

5G は高価 > Wi-Fi と BLE は障害物に弱く不安定 > ZigBee はマルチホップ型で安価

- ・ 1 ホップの屋外の最大距離を測定している. (125m)

- > マルチホップで実装すべき

- ・ 壁以外の障害物がない Line of Sight (階をまたぐ通信も可能にしている)

- > 多くの障害物を考慮してマルチホップネットワークを構築すべき

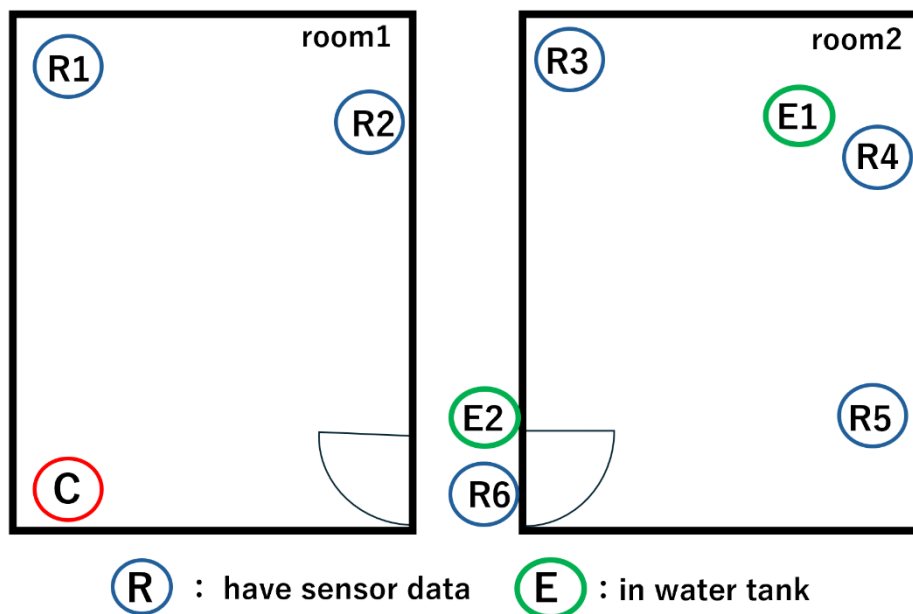
- ・ 実際に漁船間同士のマルチホップ通信やセンサを使用した論文

- > ここからどう研究目的に繋げるか？

2. 題目の確認

「牡蠣の養殖場を支援する無線マルチホップネットワークの実装」

3. underwater の Router を nowater の router の近くを置き, マルチホップで Coordinator まで通信できることを確認する.



以前, C—R4—R6 のマルチホップは確認できた.

水中に投下した E1 と E2 の実験では, 今回も R4 と R6 だけ設置するだけでよい.

【今後の予定】

- ・ 論文引用を bib ファイルからにする.

- ・ Routing 実験を行う (パケット数を決定し, node 数を徐々に増やしパケロスを確認する)